

## 研究名：造血細胞移植後外来を受診した患者の相談内容と看護指導の概要

### 1．研究の目的

小児の造血細胞移植は、身体的・精神的な成長発達途上での治療となるため、疾患の影響だけではなく、治療の影響を強く受けることが知られています。移植後のGVHDは、長期的に子どもの生活の質に大きな影響を及ぼすことがあります。重篤化させないためには早期発見や予防的ケアが重要です。当センターでは、小児がんや移植経験者に対して移植後の全身状態の把握と、病気・治療・晩期合併症などについての看護支援を行っています。

成人に比べて小児の造血細胞移植患者は少なく、さらに移植後外来を開設している施設も限定されるため、移植に特化した相談内容と支援の実際については情報が非常に少ない現状があります。そこで、当院の造血細胞移植後外来を受診した患者さんの現状と相談内容、看護師の支援を明らかにすることで、外来に必要な看護支援や退院前に強化すべき指導内容が明らかになると考え、本研究を行うこととしました。

### 2．研究の方法

研究対象：2020年11月～2022年5月までに当施設の造血細胞移植後外来を受診した患者様とご家族

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年9月

研究方法：2020年11月～2022年5月までに当施設の造血細胞移植後外来を受診した患者様とご家族の発言が記載された診療記録と看護記録・問診票から3．研究に用いる試料・情報の種類に記載されている情報を収集し、個人が特定されないように相談内容と看護指導をまとめます。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

年齢、疾患、GVHD症状の有無と内容、GVHD予防方法、退院後の生活における相談内容、支援、実施した看護指導についてです。

### 4．試料・情報の公表

学会で発表します。

### 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

### 6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年8月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 10階西病棟 看護師 柴田 映子

住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：3050）

研究責任者：国立成育医療研究センター 10階西病棟 看護師 柴田 映子